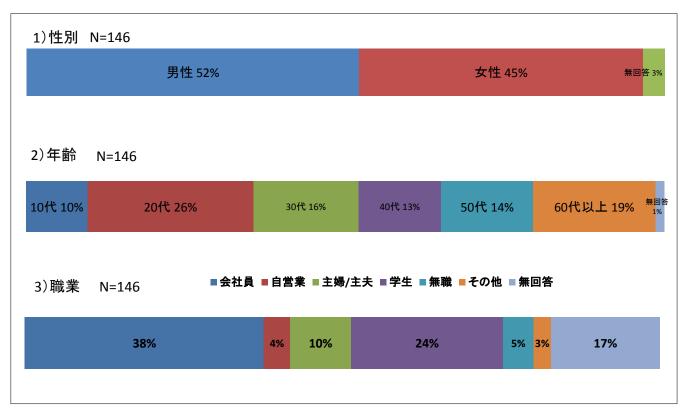
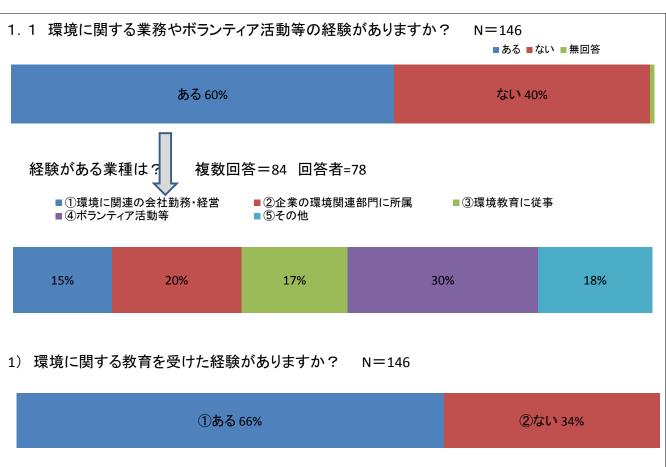
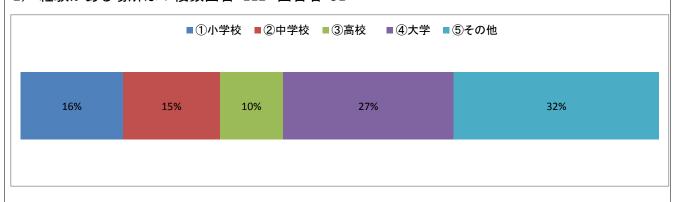
1. 消費者アンケート 参加者の属性A(全体146人)

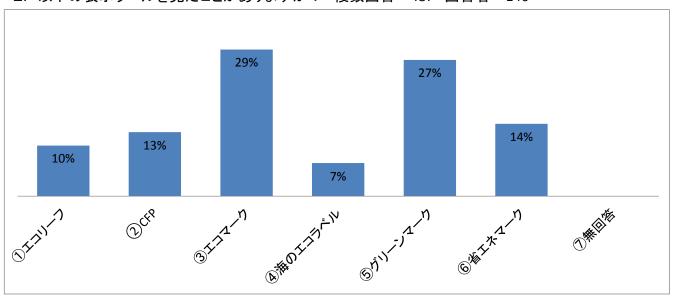


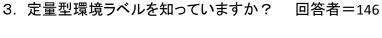


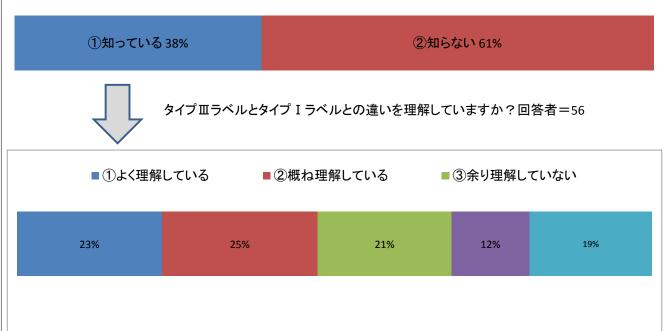
2) 経験がある場所は?複数回答=112 回答者=91



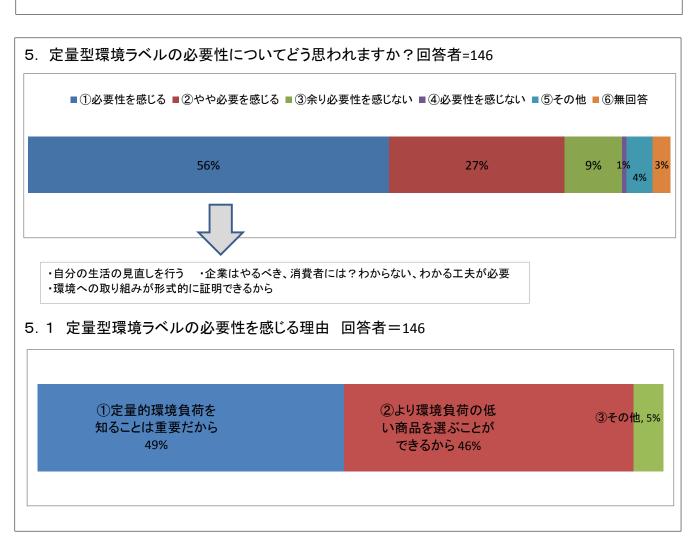
2. 以下の表示ラベルを見たことがありますか? 複数回答=487 回答者=146

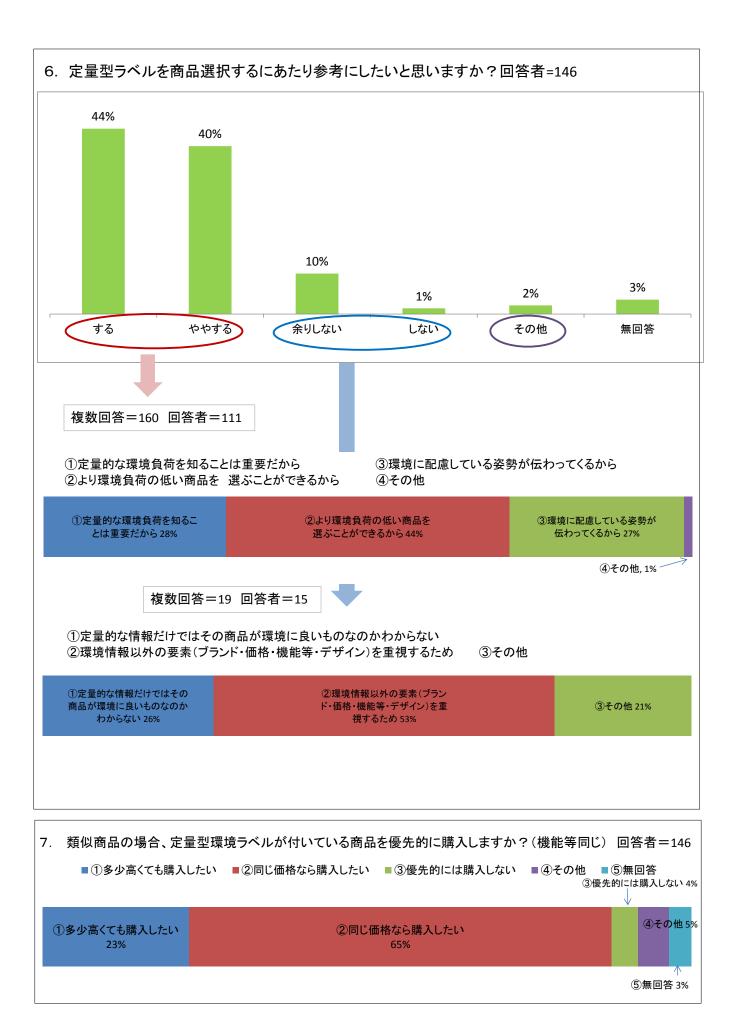






4. 定量型環境ラベルを市場で見たことがありますか? 回答者=146 ある 24% ない 72% 無回答 4% ある → ・自動販売機・ポリッピー・食品、スーパー・デジカメ・ジュース・ハムソーセージ・米・生協・あずきバー・ウィンナー・パン、食品の包材・でん六、ポリッピー・学校、ペン・トイレットペーパー





8. 多様なラベルの存在についてどのように感じますか?複数回答=160 回答者=146 ①様々な情報を商品選択 ③その他7% ②ラベルの種類が多すぎ に利用できるので良いこと て理解できない 44% である 48% ④無回答,3% 1) 今後の対応として? 複数回答=78 回答者=74 ③表示商品を増やして ②ラベルの種類を増やし ①現状維持22% ④その他,9% ていく13% いく56% 今後の対策として?複数回答=83 回答者=64 ■①類似ラベルを整理統合(削減)することで消費者に分かり易いものに変えていく ■②定量的な数字が優れているかどうか消費者に分かり易い表示(グレーティング)に改める ■③表示商品を増やして活性化することで、消費者の認知度を高める ■ ④環境ラベルに関する教育や広報活動に力を入れる ■⑤その他 39% 22% 12% 19% 8% 環境ラベルの意味、用途を明確にする必要がある。 ネットで見る ・沢山ラベルがあるならその違いなどがわかる教育がほしい ・BtoBより情報を伝達できるようラベルにこだわらず開示すべき、減らす努力 一面的な評価はよくない つながりが分かるといい ・リストが欲しい。形を見て内容を知るには限界 がある